



# 那須南病院だより

〒321-0621 栃木県那須烏山市中央3丁目2番13号 TEL.0287-84-3911(代)

No.6  
2009.1



ボランティアの方々のご協力により  
クリスマスコンサートを開催しました。

写真左上：院内保育所の子供たちにサンタさんからのプレゼントでニコッ  
右下：職員扮するサンタより患者様へプレゼントを渡す



## 病院の理念

私たちは、患者の皆様にも良質で安全な医療を提供し、地域社会に貢献します

## 基本方針

1. 地域の基幹病院として医療機関との連携の基に救急医療、専門的医療など地域の求める医療を行います。
2. 診療情報の的確な提供及び説明と同意に基づく心の通った医療を行うとともに人権とプライバシーを尊重します。
3. 最新医療の研鑽に努め、医療水準の向上を図るとともに医療の安全性向上に積極的に取り組みます。
4. より良い医療を継続して提供するため、収益の確保と経費の節減を図り、合理的・効率的な経営に努めます。

## 告知（病名を知ること）について

今回は病名（病気）を知らせることについて考えて見ましょう。

新聞などの世論調査では、

多くの若い世代は自分が「がん」になった時は病名を知りたいと回答し、親や家族の場合には知らせたくないと回答する方が少なくありません。そのことが優しい・思いやりのある対応と考えるようです。また、「子供等家族にあまり迷惑をかけずに逝きたいものだ。」と話をされる方もあります。しかし、突然の終焉は、家族にとつては大きな悔いと戸惑いが生じることや「お世話になった方々への感謝」の気持ちや伝えられないという側面があります。

現在、亡くなる方の三人に一人は「がん」であり、割合は最も多くなっています。早期の「がん」は完治することも多くなっています。心筋梗塞や脳卒中のように発病時に死亡することは少なく、亡くなるまでの期間は比較的長くなるのが特徴といえますので、人生を顧みたりする時間があります。

それでは、日頃、患者さん

が病名を知っている場合と知らない場合について感じていることを紹介させていただきます。

病名を知らない（知らせない）場合、改善しない病状に悩んだり、「正しい診断・治療が行われているのか。」と医療に対する不信や疑念を抱く場合があります。また、ご家族等に「悪い病気ではないのか。」と問われた時に返事に困り、単に「悪い病気ではないから頑張つて」等ご本人にとつては納得できない説明となり、「親身に考えてくれない。」と孤独を感じることもあるようです。

知っている（知らされていない）場合は、「ご本人からの「つらさ」等の訴えに共感し、ご家族、医療関係者も一体となつて「共に考え、いたわる。」ことで孤独感が無くなり、病気を治したいという意欲が高まる場合があります。ご本人と家族が真の病名を知る（受け入れる）ことで治療方法に關しても、「積極的な治療」から「痛み等解消」まで正確な情報に基づき、選択することができま

## 病院長 関口 忠司

一方で、患者さんには病名を「知る」、「知りたくない」権利がありますので、私の外来では精密検査を始める段階で「人によつてよい知らせは知りたいが、悪い結果は知りたくないで、若い人にだけ話してほしい。」という場合がありますが、「どのようなように考えますか。」と尋ねますと多くの人が「自分にことだから全部話してほしい。」と話されます。しかし、子供さん達の思っていることと違うことがしばしばあります。

「がん」と告げられた当初は、冷静に受け止められる方は少なく、「なぜ、自分が」「診断は間違つていないのか」「等怒りや疑念が生じることはやむを得ないことと思いが、周囲の支えの中で徐々に病気を受入れられるようになることが多いようです。

「がん」の治療は少しずつ進歩し、以前は早い時期に亡くなられていたと思われる病状の方でも「がん」と共に生活されています。

この機会に、「病名を知る。」ことについて、ご家族で話し合われてはいかがでしょうか。

## 新任紹介



内科 高橋 秀明

十一月より赴任しました高橋です。内科一般と腎臓病・透析を担当しています。地域医療に貢献できるようにがんばりたいと思います。

さて、腎臓病というと、脳卒中や心筋梗塞などに比べると馴染みが薄いと思います。最近、慢性腎臓病という疾患概念が提唱され注目されています。これは、元の病気が、糖尿病、腎炎や高血圧などの疾患に関わらず、腎臓が悪くなった状態をひとつの病気としてとらえる考え方です。注目された一番の理由は、慢性腎臓病があると、脳卒中や心筋梗塞などを起こす危険性が高いことが、様々な研究からわかってきたからです。すなわち、慢性腎臓病は、腎臓が悪くなるだけでなく、他臓器にも影響を及ぼすのです。先日NHKの「ためしてガッテン」でも、腎臓病が貧血や骨へ影響するという話が放送されていました。もちろん、慢性腎臓病が進行すると、透析

が必要になる場合があります。二〇〇七年末で、全国の透析患者さんの合計は、二十七万人に達しました。これは、日本人の五〇〇人に一人が透析治療を受けている計算になります。これだけ増加している理由は、糖尿病の増加と高血圧を持つ方の高齢化にあります。

では、慢性腎臓病にならないためには、どうすればいいのでしょうか？まず基本となるのは、元の病気をきちんと治療することです。糖尿病であれば、糖尿病の治療を、高血圧があれば高血圧の治療をしっかりと行うことです。もし、腎臓病になつてしまった場合には、どうすればいいのでしょうか？元の病気の治療を継続するとともに、食事療法、血圧のコントロール、内服薬などが大切になります。他の病気もそうですが、よりよい治療を行うには、医師の力だけではどうにもなりません。患者さん自身の努力や協力が必要になります。個人的には、お医者さん任せにするのではなく、ご自身の病気を理解して頂き、一緒に治療を行っていきたくと考えています。



## 院内紹介 栄養管理科

こんにちは！栄養管理科です。

栄養管理科は当院診療部に所属。チーム医療の一環

として栄養を管理し皆様に満足していただけるよう入院食の充実を図っています。入院食のほか、外来透析、付添、院内保育所、職員食を提供しています。

科の理念「患者様中心の栄養管理をいたします」を掲げ、方針に従って日々業務に取り組んでいます。

科のモットーは、「安全・安心治療に役立つ美味しい食事」です。

### <栄養管理>

入院患者様全員を対象に管理栄養士が栄養管理計画書を作成、栄養管理業務を行っています。また、NST(栄養サポートチーム)活動を行い、チーム医療を展開しています。

栄養食事指導は、主治医の依頼表(指示)により入院および外来患者様の栄養食事指導を予約制で実施しています。糖尿病、腎臓病、高脂血症など様々な病態にあわせて、食生活や献立・調理についてフードモデルやパンフレットを使用し個別にアドバイスをを行います。

### <食事管理>

疾病治療の手段の一つとして、医師の指示による食事箋により、一般食や特別治療食を提供しています。また、当院独自の献立作成マニュアルにそって、季節感あふれるメニューや行事食を取り入れ、患者様個々の病態や嗜好にあわせて、主食や調理形態などの個別対応を行っています。



さらに、当院ではできる限り旬の食材を利用した手作りの料理を基本とし、行事食(メッセージカード付)も年に30回ほど計画しています。また、常食献立を対象に選択食(週3回朝食・昼食)を実施しています。

調理部門では、厚生労働省で発行された「大量調理施設衛生管理マニュアル」にそって、衛生管理を徹底し安全でおいしい食事を提供するようになっています。そして、患者様に適した食事、患者様の心をなごませる食事作りを目標に日々業務に邁進しています。

スタッフの構成 病院管理栄養士2名、委託栄養士4名、  
委託調理師4名、委託調理員8名 計18名

## ● 新型インフルエンザについて ●

インフルエンザは遺伝子の変異が起こりやすく、ウイルスの抗原性は絶えず変化しています。このため毎年冬になるとインフルエンザは流行し、私たちは予防のため毎年ワクチンを受けることとなります。A型インフルエンザはさらに細かく亜型に分類されていて、現在ではエニニ亜型(香港かぜ)とエニS亜型(ソ連かぜ)がA型における世界共通の流行株となっています。このように同じ亜型のなかでの変異を連続抗原変異とい

います。これに対し、あるとき突然別の亜型が出現することがあります。この場合ヒトはこの新しいウイルスに対する免疫を持っていないため、世界中で大流行することになります。これを不連続抗原変異といい、人類にとって初めての亜型である場合に新型インフルエンザと呼ばれます。二十世紀は三度の新型インフルエンザが出現しました。一九一八年にはスペインかぜ(エニニ)が出現し、世界中で四千万人が死亡しました。その後一九五七年にアジアかぜ(エニS)が、次いで一九六八年には香港かぜ(エニS)が出現しています。これまで不連続抗原変異は十、四十年という周期で起きており、現在流行している香港かぜが

四十年間流行していることを考慮すると、いつ新型が登場してもおかしくない時期になります。

二〇〇三年より、渡り鳥や家禽など鳥類の間で高病原性鳥インフルエンザが流行しています。非常に病原性が強くニワトリは一〇〇%死亡します。この鳥インフルエンザがヒトに感染した事例が現在までで三百八十七例あり、うち二百四十五例が死亡しています。そこでこの鳥インフルエンザ(エニS)が次期新型インフルエンザの候補として考えられるようになってきたわけですが、このように病原性の高いインフルエンザが大流行した場合、社会に対する影響が非常に大きいことから、各国政府は巨額の予算を計上して新型インフルエンザ対策を行っています。自治体や医療機関においても危機感をもって対策を行っているところがあり、発熱外来の訓練などはよく報道されています。

新型インフルエンザはいつ、どのくらいの病原性のものが流行するのか全くわかりませんが、被害を最小限に抑えるための準備を個人や地域において、少しずつ行っていく必要があるのではないかと思います。

(院内感染対策委員長 関根 豊)

# 那須南病院外来診療担当医一覧

(平成21年1月1日現在)

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科 循環器内科 神経内科	8:30~11:30	関根 豊 大木基通	森成正人	高橋秀明	宮澤保春 島田浩至	森成正人
		島田浩至	宮澤保春 高橋秀明	関根 豊 宮澤保春	森成正人	大木基通 高橋秀明 小林敏博 (第1・3・5)
	13:30~16:00	宮澤保春	原 健二	大木基通	原 健二	島田浩至
小児科	8:30~11:30	黒崎仁寛	黒崎仁寛		黒崎仁寛	黒崎仁寛
	13:30~15:30	特殊外来		予防接種等 [隔週・要予約]		
外科	8:30~11:30	関口忠司	井上賢之	小泉 大	関口忠司	森 和亮
		井上賢之	特殊外来	森 和亮	小泉 大	
整形外科	8:30~11:30		長田伝重			
	13:30~16:00				萩原 秀	
眼科	8:30~11:30	小出義博	小出義博	中村恭子	小出義博	小出義博
	13:30~15:00		予約(手術)		休診(手術)	
耳鼻咽喉科	8:30~11:30		後藤一貴			中島逸男
	13:30~15:30					
皮膚科	13:30~16:00			村田 哲		
泌尿器科	13:30~16:00			古清水岳志 又は 貫井昭徳		

\*都合により担当医が変更、又は休診となることがあります。

\*内科では、■の医師が初診外来です。

\*眼科の木曜日午後は、手術のため休診となります。

## 休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

●ご来院の際は、受診カードを必ずお持ちください。お忘れになられた場合は、医療事故防止のうえから実費により再発行させていただきます。

●毎月保険証等を確認しますので、忘れずにお持ちください。

●救急の患者様は、随時対応いたしますので、電話（☎84-3911）にてご連絡ください。

ホームページ <http://www.nasuminami-hosp.karasuyama.tochigi.jp>